

とうのしょうまち

東庄町 第165号

# 議会だより

平成30年  
9月1日  
発行

## 目次

- 6月定例会の内容…………… 2
- 常任委員会・行政視察研修報告… 3
- 一般質問…………… 4～7
- 議会トピックス…………… 8

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111



コジュリンくん

## “とれたてだよー！”

7月11日(水)橘幼稚園園庭で、炎暑にも負けず笹川・橘幼稚園児たちが「トウモロコシ収穫体験」を行いました。

自分たちで育てた地産地消のトウモロコシ…さて、お味は？

6月定例会

議員発議による議会改革特別委員会を設置

6月定例会は、6月5日から8日までの4日間の会期で開かれました。  
 今議会では、承認2件、議案1件、報告1件が提案され、すべての案件を原案のとおり可決しました。  
 請願2件については、教育予算関係の請願2件が採択となり、教育予算関係に関連した「意見書案2件」を可決しました。  
 最終日には地方分権時代にふさわしい、町民より信頼され、開かれた議会を目指し、議会の組織、運営等に関する調査研究をする「議会改革特別委員会」に関して諮られ設置することになりました。  
 一般質問は4人の議員が行いました。

定例会の経過概要

6月定例会初日の5日には、一般質問を4人の議員が行った後、条例の一部改正に係る専決処分の承認2件、過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定の議案1件が提案され、慎重審議の結果、全案件を原案のとおり可決しました。

次に、繰越明許費繰越計算書の報告を受けました。  
 続いて、請願2件が上程され趣旨説明の後、所管の常任委員会に付託しました。

2日目の6日は、午前文教福祉常任委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。  
 最終日の8日には、文教福祉常任委員長から付託された請願2件の審査結果の報告があり、全ての案件を採択としました。

これを受け、議員発議による意見書案2件が提出され可決しました。

続いて、議会改革特別委員会設置に関する決議が議員発議により提出され、全員の賛成により設置することとし、直ちに委員の選任を行い、6人の委員を選任いたしました。

主な議案等の概要

◎専決処分の承認

町税条例等の一部を改正する条例の制定について専決処分したため、承認を求めもの。

◎専決処分の承認

東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について専決処分したため、承認を求めもの。

◎「東庄町過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例」の制定

平成29年4月に東庄町が指定を受け過疎地域自立促進特別措置法に基づき関係する条例を制定するもの。

◎議会改革特別委員会の設置及び委員の選任

◎議会改革特別委員会

- 委員長 山崎ひろみ
- 副委員長 花孝彦
- 委員 宮崎正吾
- 委員 鈴木正昭
- 委員 板寺正範
- 委員 土屋光正

6月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=— (議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	土屋光正	宮澤健	佐久間義房	板寺正範	花香孝彦	大綱正敏	高木武男	鈴木正昭	山崎ひろみ	土屋進	宮崎正吾	鎌形寿一	城之内一男
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(町税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第21号	東庄町過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について(平成29年度東庄町一般会計繰越明許費繰越計算書)	報告	報告事項のため採決はありません												
請願第1号	「国における平成31(2019)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書案第1号	国における平成31(2019)年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第1号	議会改革特別委員会設置に関する決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



# 文教福祉 常任委員会報告

（請願第1号 「国における平成31（2019）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願）

意見 震災後、学校が崩壊し地域の方々  
がバラバラになっている。避難解除  
になったにもかかわらず生徒が、6  
人しか集まらない状況であり、人が  
戻ってくる環境を整備しなければな  
らない。震災からの教育振興につい  
ては、ほかの振興予算にとられ、教  
育復興に集まらない状況のため、予  
算拡充を図り復興を進めていくべき  
と考える。

（請願第2号 「義務教育費国庫負担制  
度の堅持に関する意見書」採択に関す  
る請願）

意見 32年度から本町においても5校  
から1校に統合し、一クラスの生徒  
数も変わってくる。地方の教育現場  
は大変厳しい状況であるが、教育に  
ついては平等であり地域によって教  
育環境に格差が生じることはならな  
いと考えるため、本請願に賛成する。

以上のような意見等があり、請願第  
1号・第2号について、採決した結果、  
当委員会においては、全員賛成により、  
採択すべきものと決定しました。

## 文教福祉常任委員会行政視察研修 先進地に学ぶ

文教福祉常任委員会は、5月14日、15日に廃校リニューア  
ルをテーマに視察研修を行いました。

1日目は栃木県芳賀町シルバー人材センターを視察。この  
町は、企業や研究所約100社を有しており、税収は高い反  
面、企業への地元住人の雇用が少ないとのこと。

小学校の統合と閉校後の利活用が同時に進められ、約2年  
をかけ決定。

学校建設に際し、補助金の返還や、起債の繰り上げ償還を  
せずに済む施設利用で検討し、地元との十分な協議を重ね、  
広報紙で審議状況を知らせた結果、地域の理解が得られ、廃  
校が新たにシルバー人材センターとして生まれ変わった。早  
くも18年が経過をし、現在の会員数160名で事務所・講習  
会・受注作業場として活用中であった。他の施設は、学校と  
いう規模と構造の問題で、全面利用が難しいため、一部利用  
に転換し、生涯学習センター・備蓄倉庫・収蔵庫として利用  
していた。廃校から次の活用までは出来るだけ時間を掛けず、  
いくつかの団体で分割・共同利用等も可能にする、解体も選  
択肢の一つであるとのアドバイスを受ける。

翌15日は、茨城県石岡市朝日里山学校を視察。指定管理者  
制度を導入し、管理者NPO法人朝日里山ファーム管理運営  
について、設立経緯から、活用状況と今後の事業方針の説明  
を受けた。現在の会員は法人7、正会員19名、賛助会員9名  
で運営し、リピーターも多く学校関係からの申し込みも定着  
しつつあるとのこと。

質疑応答の後、体験施設を視察中近くの幼稚園児によるピ  
ザ作り実践の模様を、見学することができた。

アドバイスとして、まずはしっかりとした需要調査の上で、  
住民の理解と参画を得ることが一番重要とのことであった。

同日午後は、株式会社なめがたしるはとファームにて、会  
社の概要とJAなめがたとの連携、事業拡大における取組の  
説明を受け、サツマイモミュージアム施設の視察をし、帰路  
となった。



やきいも保育園（なめがたファーマーズヴィレッジ内）



幼稚園児ピザ作り（朝日里山学校内）



山崎 ひろみ 議員

### 中小企業の設備投資を促す制度について

**問** 国の施策である中小企業の設備投資を促す支援について、町はどのように周知し進めていくのか。

**まちづくり課長** 現在、導入促進基本計画の策定に向けた事務を進めております。また、中小企業経営の育成振興を図るため、町には中小企業資金融資制度があります。今後も町広報やホームページ、そして商工会・各金融機関等を通じ周知してまいります。

### 通学路の安全対策

**問** 新入学した児童生徒の保護者から通学路の危険性を指摘されるが、町はどのように管理し、安全対策をしているか。

**まちづくり課長** 通学路に限らず、施設管理班が毎日、町道のパトロールを行っています。それに基づき、優先順位を決めて側線の引き直し等、



施設管理班による伐採

維持工事を実施しております。また、町区長会から中学校通学路拡幅整備の要望を受け、今年度に対象路線の測量と設計の委託業務を計画しております。路肩の狭い国・県道の通学路については、県へ歩道・路肩整備・修繕を継続して要望してまいります。

**問** 天候で、カーブミラーが曇り、見えない状況に対応できる光触媒超親水化処理を施したカーブミラーがあると聴くが、町は導入する考えはあるか。

**総務課長** ご提言の製品は、安全性の向上に効果があると考えますので、今後、価格等調査し、導入を検討してまいります。

### ひきこもりの社会復帰支援

**問** ひきこもりの長期化・高齢化が大きな課題となっている。この度の「訪問型就労準備支援事業」を実施する考えはあるか。

**健康福祉課長** 本町としては、地域の皆さんに協力を頂きながら、既にある「東庄町見守りネットワーク事業」を有効的に活用していく予定です。そして、国の動向に注視しながら、中核地域生活支援センターとも連携し、実態把握等に努めていきたいと考えております。

**提言** 小学校統合後の空いた学校を活用し、シルバー人材センターを含める就労支援の場に整備すべきと考える。



## 議会の傍聴にお出かけください

9月定例会は、9月4日(火)から開会予定です。

<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>







ラジコンショー



佐久間 義房 議員

東庄町の活性化について

**問** 「東庄音頭ぼんおどり会や「ラジコンショー」に補助金交付をしていたが、これらの事業の成果と効果は。

また、過去2ヶ年の「ポーク&ビア夏祭り」のまちおこし成果と来年度以降、開催の意向や規模・内容は如何に。

**まちづくり課長** 「東庄音頭ぼんおどり会」は、昨年までに11回開催され、今では夏の催しとなり、町民の憩いの場として定着しております。

今年度より、主催者の東の里ぼんおどりの会が、観光協会へ入会し、町の観光行事に位置付けられましたので、より活力ある催しとなること期待されます。また、商工会青年部による「ラジコンショー」は、平成21・22・24年に開催され2万人以上の来場者があった年もあり、地域の活性化に大きく貢献いたしました。

次に、「ポーク&ビア夏祭り」は、平成28・29年のお盆の3日間に渡り開催され、1万2千人の来場者があり、夜型のイベントとして、町の主要農産物である豚肉とコラボレーションしたビアガーデンは、他市町村からも注目されています。3年目にあたる今年度は、例年以上に盛り上げようと、まちおこし隊・観光協会・町で会議を重ね協議しております。来年度以降の開催の可否については、まだ決まっておりませんが、関係団体による継続の意向があれば、町は、可能な限り協力していきたいと考えます。

**問** 「ラジコンショー」は、町内外から多くの来場者があり、地域の活性化に大きな役割を果たしたと思うが、どのような経過で現在中断となっているのか。この事業の復活と新規の計画を伺う。

**まちづくり課長** 商工会青年部による「ラジコンショー」は1回の経費が700万円程かかるため、地域活性化事業から350万円から400万円の補助金を受け、過去3回開催されました。しかし、補助金交付は3年が目途のため、資金面から単独開催が困難となり、中断されたと考えられます。今後、商工会青年部では、河川敷に常設のラジコン飛行場を建設し「ラジコンショー」を開催したいと考えているようです。

現在、商工会へは、設置目的・投資額・管理体制・安全対策等について国土交通省利根川下流事務所と協議ができるよう具体的な計画の提出を依頼しております。

**要望** 人口減少により過疎指定されている中、町民が元気で明るく豊かな未来を展望できるよう、新規事業・中断している事業につき、町の積極的な協力を望む。



千葉県町村議会議員 研修会

8月2日、千葉県町村議会議長会の主催による議員研修会が開催されました。

研修では、鍵屋一氏（跡見学園女子大学教授）による『災害時の議会、議員の役割』、及び田口一博氏（新潟県立大学准教授）による『地方議会のあり方に関する研究会報告書』とこれからの町村議会」と題した講演が行われました。

それぞれの講演を通し、議会が議事機関としての機能充実を図る有意義な研修となりました。





宮澤 健 議員

### 土砂災害防止法について

**問** 昨年の台風21号時の避難勧告・避難指示の結果をどのように分析しているか。また、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）や特別警戒区域（レッドゾーン）に相当する地域への対応について伺う。

**総務課長** 避難勧告発令時は、激しい降雨の中、避難所への移動が危険であったため、屋内で安全確保された方が多かったのではないかと思われれます。災害時、今回も大丈夫といった、「正常性バイアス」と言われる偏見が大変危険です。住民の方に土砂災害の危険性を再認識していただくと共に、今後も早めの避難を呼びかけてまいります。



### 問

災害避難所開設時の課題と、避難所運営マニュアルの整備状況を伺う。学校も避難施設に指定されているが、教職員の方々への周知はされているか。また、避難所に至る経路の検討は如何に。

**総務課長** 避難所開設時、国政選挙と重なり、人員確保に苦労いたしました。管理職員を中心に適切な対応が出来たと考えております。今後は、いかなる事態でも適切に避難所を開設できるように、対応方針を検討してまいります。現在の運営マニュアルは現状に即していないことから、地域防災計画改訂にあわせた見直しを行い、町の実情に即した実効性あるマニュアルを整備してまいります。と考えております。その中で、学校対応についても教育委員会と十分協議の上、マニュアルの中に織り込んで参りたいと考えております。次に避難経路については、今回整備するハザードマップ等を利用し、住民の皆様には日頃から避難所と避難経路を自ら確認し、自らの安全は自らが守る意識を持っていただくよう、啓発に努めてまいりたいと思っております。

### 問

今年度事業の洪水ハザードマップの進捗状況と、防災計画の住民への周知方法について伺う。



洪水ハザードマップ

**総務課長** 洪水ハザードマップは、国・県から示された利根川洪水浸水想定区域や、土砂災害警戒区域等に関する最新情報を活用し、年度内に作成するよう事務を進めております。この洪水ハザードマップは全世帯へ配布する予定です。また、地域防災計画は、ホームページ等で公表し、各自自治会を通じ、周知いたします。なお、土砂災害危険箇所についても、対象世帯・自治会・消防団等に警戒区域の参考地図を配布し、注意喚起と防災意識の高揚に努めてまいります。

**提言** 「行政の知らせる努力」・「住民の知る努力」とが相乗し、お互いが一体となった体制の構築が出来、減災へと繋がることを強く提言する。



### 議会広報研究会に参加

昨年に続き、市町村議会広報研究会に参加いたしました。「住民に読まれ、伝わる」議会広報編集のポイントを、全国の優れた広報紙を参照に具体的に取上げた内容でした。

まずは、見出しと、サブタイトルそして写真で7割の内容が理解できること。記事は残りの3割を読みたくなるよう、見出しを工夫し、配置を目に留まる箇所に持つていくこと。

また、号ごとの企画・編集マニュアルを作成し、手順に沿った内容で一歩ずつ進め練り上げていき、伝えるための熱意と労を惜しまないこと。詳しく掲載したい想いから活字中心になりがちな広報紙ですが、この研究会で学んだ事を念頭に、住民に読まれ、伝わるよう努力してまいります。







高木 武男 議員

税について

問 大多数の町民が加入する国民健康保険や介護保険の負担軽減のため、町ではどのような努力をされているのでしょうか、お伺いいたします。

町民課長 町では、40歳以上75歳未満の方に特定健康診査を、35歳から39歳までの方には独自に健康診査を無料で実施し、個別に受診勧奨通知を送っております。これと併せ、広報紙・町ホームページにも掲載し、周知を図っております。また、今年度は、未受診者傾向に合わせた勧奨通知の発送とコジユリンカードに行政ポイントを付与することで、受診率アップを図り、町民の病気早期発見に努めております。28年度からは、町独自に推算塩分摂取量測定を検査項目に追加し、血圧降下に向けた減塩対策の保健指導を行っております。今後も保健事業に力を注ぎ、事業内容を検討していくことで、保険税の抑制につなげてまいります。



すこやかくらぶ

健康福祉課長 町では、介護保険料の上昇抑制のため、地域包括支援センターを中心に認定を受けていない方やサービスを利用していない方を対象に、各種介護予防事業を実施しております。介護予防教室では、体操中心の「げんき教室」・「はつらつ教室」を、また、1日過ごせるミニデイサービスとして「すこやかくらぶ」を開催しております。また介護予防啓発のため、各地区に出向いて「出前講座」を行い、介護予防の普及啓発につとめております。今後も介護認定者の増加による介護保険料の上昇が見込まれますが、現在実施中の事業を継続し、保険料抑制に努めてまいります。

まちづくり課長 今後、国・県から示される指針や要綱により、森林環境譲与税が里山整備に活用可能となれば、整備したい事業者や団体に対し、支援していきたいと考えております。また、現在、町では里山の保全・整備及び活用を主体に活動する1団体に対し、経費の一部補助を行っております。今後も意欲的な団体がありましたら、支援してまいりたいと考えています。

要望 集団検診から個人対応の検診で問診を重視して、病気の芽をいち早く発見して先制攻撃する予防医療を望みます。



問 新たに導入される環境税を活用し、道路の法面や道路から5m幅を里山として整備する里山ゾーンは景観を良くし、東庄町の魅力アップに繋がるのではないのでしょうか。

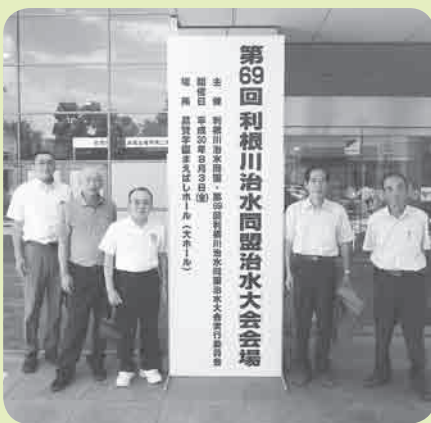
ウォーキングが楽しくなる散歩道の整備と小学校廃校後の空き教室には筋トレの出来るトレーニングジムの整備を、そして国保税と介護保険料の1円でも安くされることを要望いたします。

この一般質問は、6月定例会の内容を要約したものです。全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。



利根川治水同盟治水大会に参加

8月3日、群馬県前橋市民文化会館を会場に、第69回利根川治水同盟治水大会が開催され、総務産業委員長他が参加しました。



**千葉県町村議会議長会  
特別自治功労者表彰を  
鎌形寿一議員が受賞**

5月24日、千葉県町村議会議長会より町議会議員として18年以上在職し、地方自治の発展と町の活性化に多大な貢献をした功績が認められ、鎌形寿一議員が表彰を受けました。



**議会活動日誌**

【議長・議員が出席した主な行事】

**5月**

- 2日 東庄町PTA連絡協議会定期総会
- 8日 議会運営委員会  
〃 議会全員協議会
- 11日 東庄町遺族会総会
- 14日 文教福祉常任委員会行政視察研修(～15日)
- 18日 東庄町農村ふれあい塾塾員会議
- 19日 町小学校陸上競技大会
- 20日 伊能忠敬翁没後200年記念式典
- 21日 町児童館運営協議会
- 23日 東庄町商工会総代会
- 24日 千葉県町村議会議長会第1回定例会  
〃 香取地区社会教育連絡協議会平成30年度定期総会並びに第1回社会教育研究会
- 25日 香取郡市町議会議長会定期総会  
〃 小見川交通安全協会東庄町支部総会
- 27日 奨学基金事業審査会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 町シニアクラブ連合会グランドゴルフ大会
- 31日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会第1回理事会

**6月**

- 3日 東庄町防災演習

- 3日 東庄町観光ふな釣り大会表彰式
- 4日 シルバー人材センター通常総会
- 5日 議会6月定例会本会議
- 6日 文教福祉常任委員会
- 8日 議会6月定例会本会議  
〃 議会全員協議会
- 10日 なのはなシニア千葉特選演芸会  
〃 香取支部ポンプ操法訓練激励会
- 13日 議会改革特別委員会
- 17日 町区長会研修旅行(～19日)
- 23日 千葉県消防協会香取支部ポンプ操法大会

**7月**

- 3日 香取広域市町村圏事務組合議会7月臨時議会
- 5日 市町村議会広報研究会
- 8日 元教育長小澤茂氏 春の叙勲受賞祝賀会
- 11日 東庄町PTA連絡協議会教育関係者研修視察
- 12日 東庄町水道運営審議会  
〃 平成30年度第1回「東庄町の国民健康保険事業の運営に関する協議会」
- 19日 議会改革特別委員会
- 24日 東庄青果通常総会  
〃 議会広報編集委員会

**◆編集後記◆**

今夏の西日本豪雨は、甚大な被害と多くの犠牲者を出しました。

更に大変な避難生活をされる方がいる中、日本中が過去に経験の無い猛暑の日が続きました。熱中症を発症する方も多くいらっしゃいました。

地球温暖化の影響も気掛かりですが、天災はいつでも起きるか分かりません。

日頃の備えを万全に、近隣地域の交流も深め被害が最小限になるよう努めて参りたいと思います。

私達は皆様の声を聴き、議会の中で発言し広報の紙面でお伝え出来るよう取り組んで参ります。

(委員 山崎ひろみ)

**議会広報編集委員**

- |       |         |
|-------|---------|
| 委員 長  | 花 香 孝 彦 |
| 副委員 長 | 宮 澤 健 彦 |
| 委員    | 山 崎 ひろみ |
|       | 鈴 木 正 昭 |
|       | 大 網 正 敏 |
|       | 土 屋 光 正 |

